

英語版 FASS 検定

「実証テスト」検証結果報告

2013/03

日本 CFO 協会

英語版 FASS 検定 「実証テスト」検証結果報告

【1】「実証テスト」の目的

現在実施している「経理・財務スキル検定（FASS）」のオプション試験として経理・財務スタッフの英語力を測定する試験の構築を検討しており、今回その実現性及び有効性等の検証を目的としてパイロット版試験による「実証テスト」を実施した。

【2】「実証テスト」の実施概要

01) 実施方針

経理・財務スタッフが業務上、必要となる英語力（スキル）を適切に測定することを目的としているため、そもそもの経理業務に関する知識やスキルレベルに影響を受けない様な試験プログラムとすべく以下の要件にて「実証テスト」を実施した。

- 現在実施している「FASS 検定試験問題」より 30 問を選定し、「日本語版試験」「英語版試験」を整備
- 「日本語版」「英語版」の順番で、それぞれ 30 分の制限時間で連続して受験

02) 実施結果

（実施期間）2012 年 11 月 19 日～2013 年 1 月 31 日

（実施形式）IBT 方式（Internet Based Testing）

（参加会社数）22 社

（有効受験者数）254 名

（平均点）日本語版：25.6 点／英語版：19.3 点 ※各 30 点満点

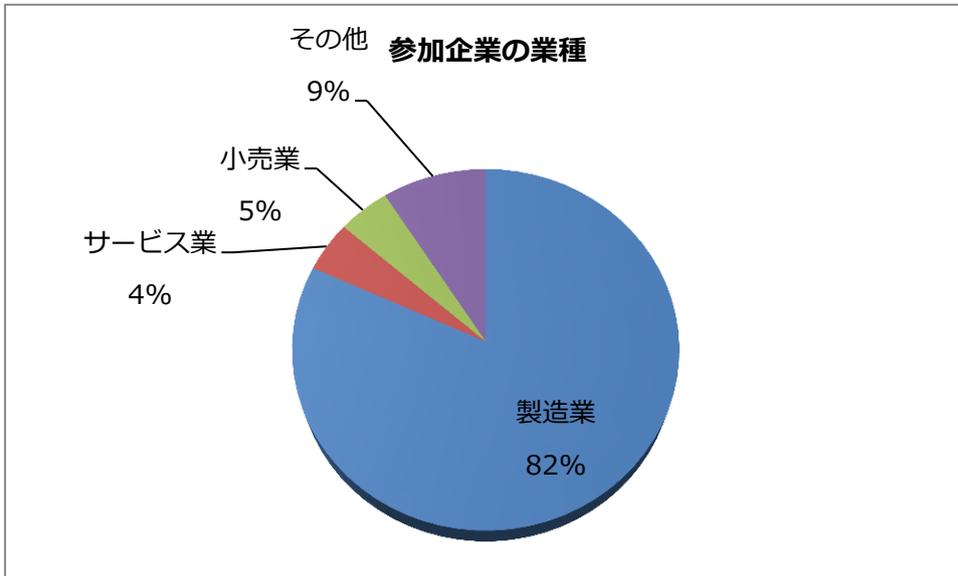
03) 検証結果の要点

- 日本語版試験では 7 割以上（21 点以上）正答した受験者が 90%以上であったが、英語版試験では 50%を割った。
- 受験者属性との関連性では、特に「役職」及び「経理・財務業務経験年数」と日・英それぞれのスコアとの相関性があるといえる。
- 経理・財務系資格取得者との関連性では、公認会計士/米国公認会計士/MBA/証券アナリストの資格保持者が日・英とも比較的高い正答率を示している。
- 英語系資格試験との関連では、最も受験経験者数が多かった試験が「TOEIC」であり全受験者の 75%強を占めているが、725 点以下のスコア保持の受験者で日本語試験及び英語版試験にわたり同レベルの成績維持が出来た受験者は 30%を割っている。

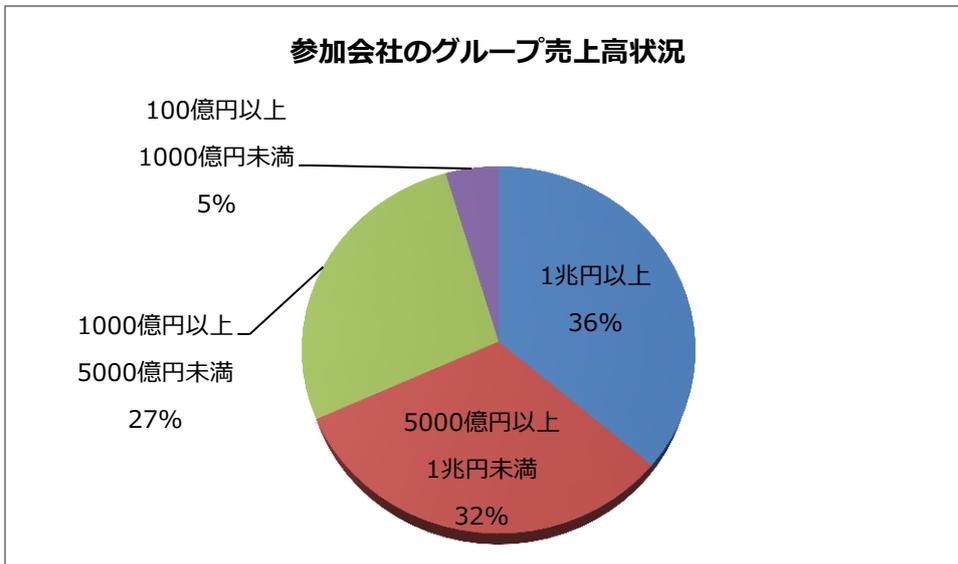
英語版 FASS 検定
「実証テスト」検証結果報告

【3】参加会社の状況

01) 業種別

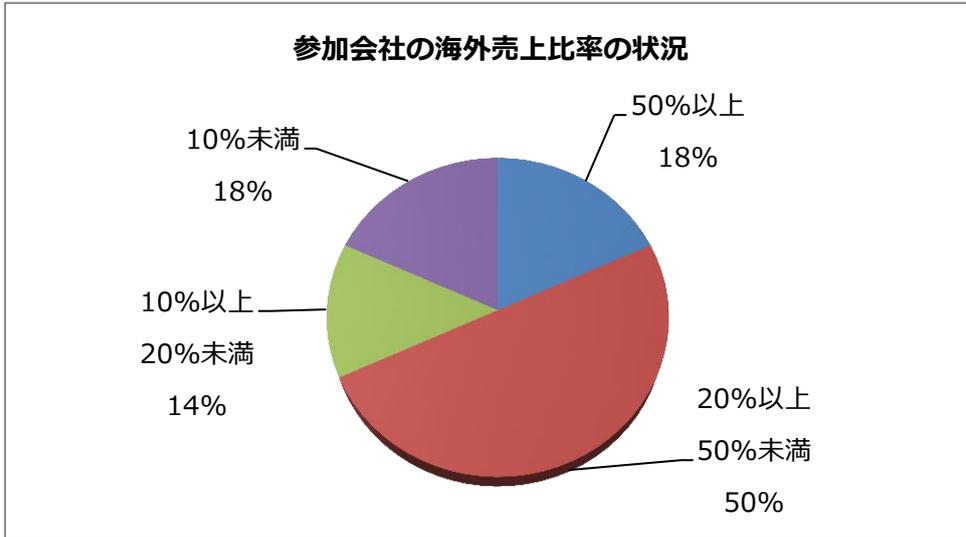


02) グループ売上高

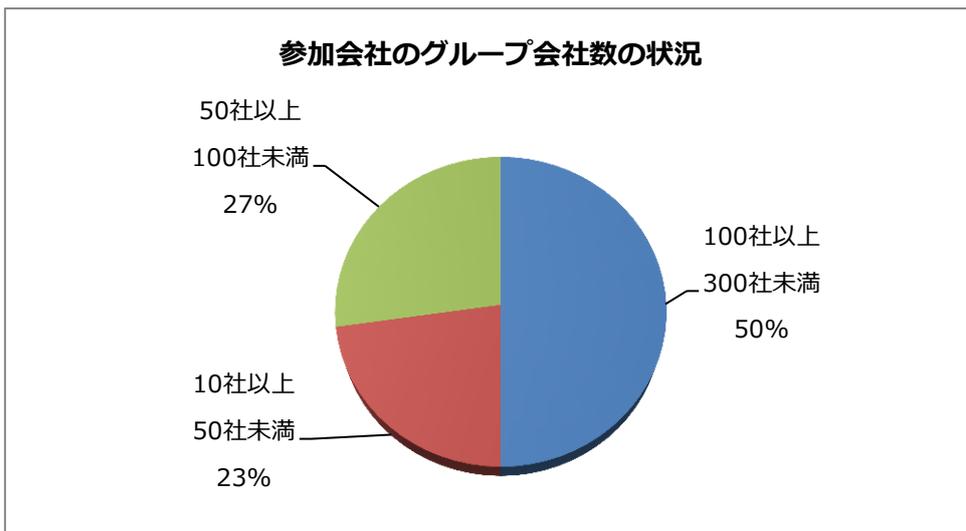


英語版 FASS 検定
「実証テスト」検証結果報告

03) 海外売上比率

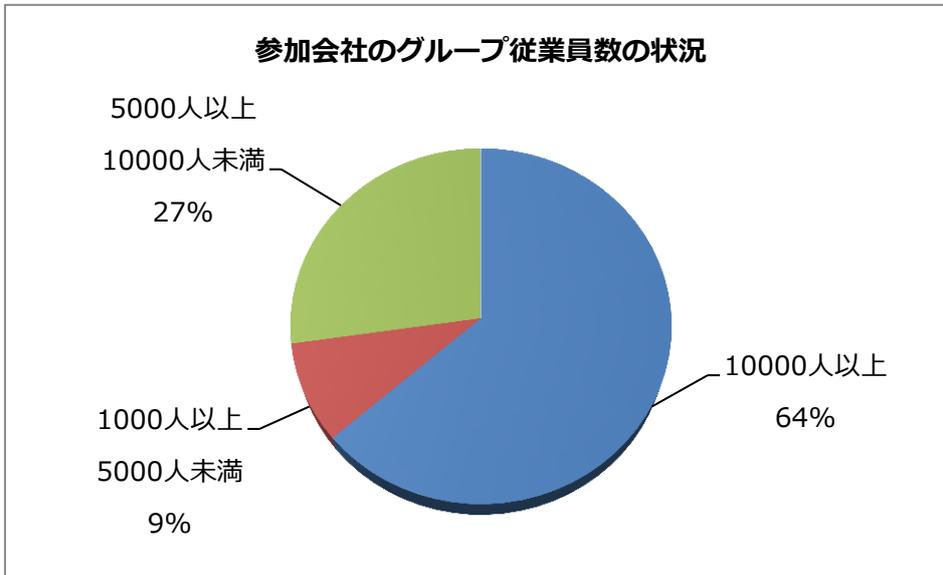


04) グループ会社数

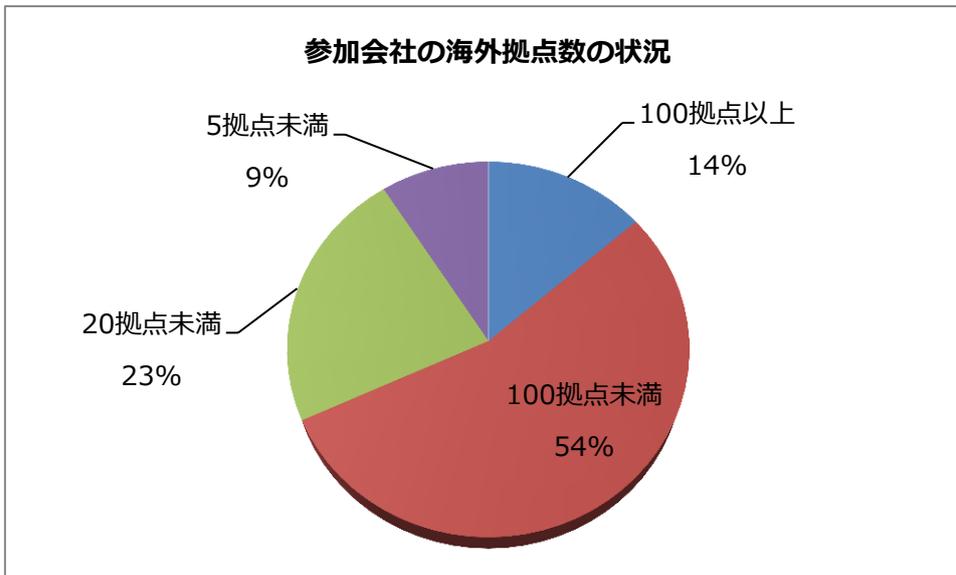


英語版 FASS 検定
「実証テスト」検証結果報告

05) グループ従業員数



06) 海外拠点数

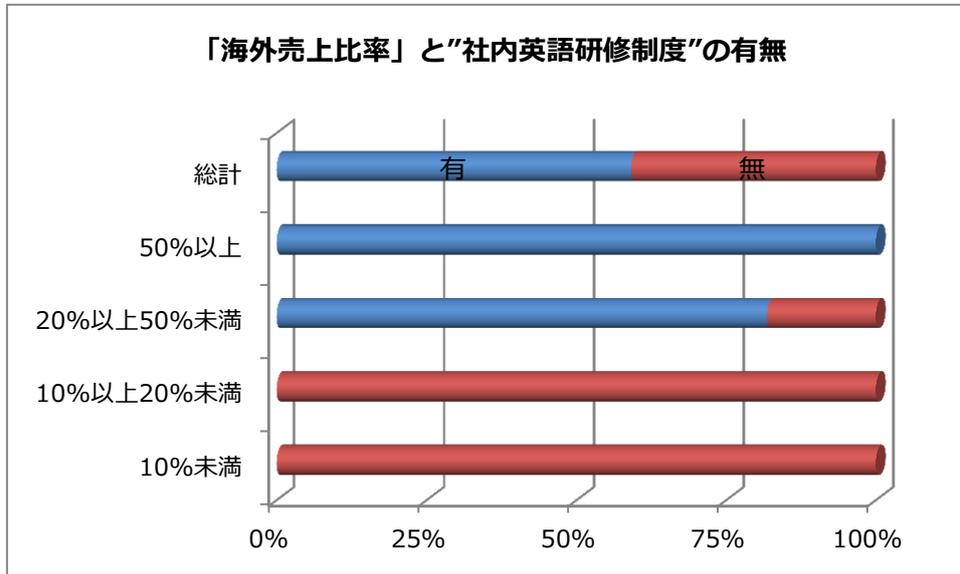


英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

07) 社内英語研修制度

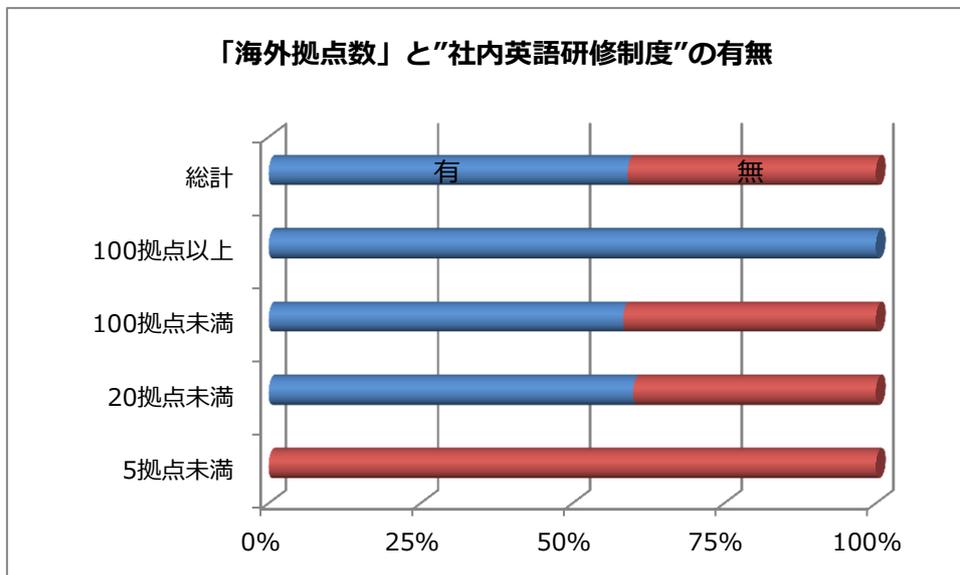
(海外売上比率との比較)

50%以上の会社では全て、20%以上 50%未満の会社では約 8 割が研修制度有と回答。



(海外拠点数との比較)

100 拠点以上の会社では全て、5 拠点以上の会社では 6 割弱の会社が研修制度有と回答



英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

【4】 日本語版試験／英語版試験結果の検証

01) スコアレベル分布

30 点満点のスコアを 3 階層に分類し、受験者のスコアレベルを検証する。

L1 : 26 点～30 点 ※FASS 検定の A レベルに相当と仮定

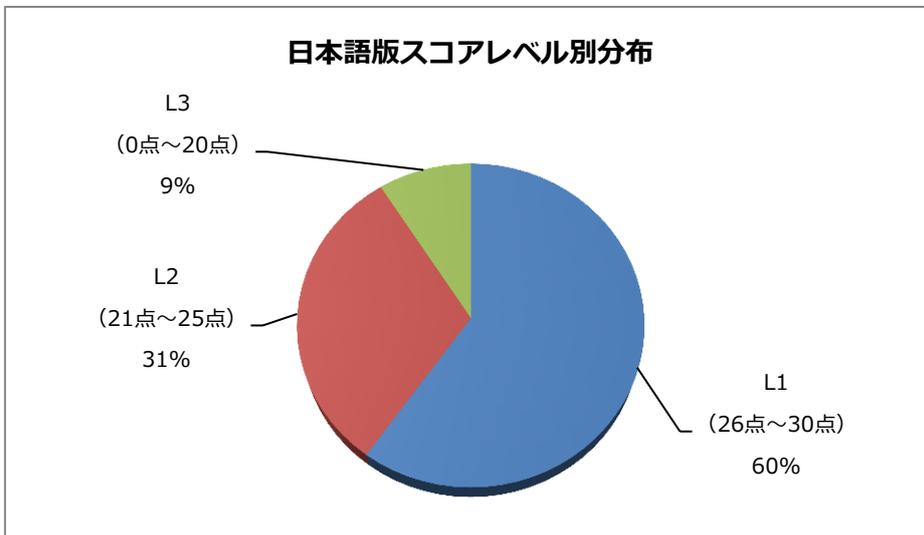
L2 : 21 点～25 点 ※FASS 検定 B/C レベルに相当と仮定

L3 : 0 点～20 点

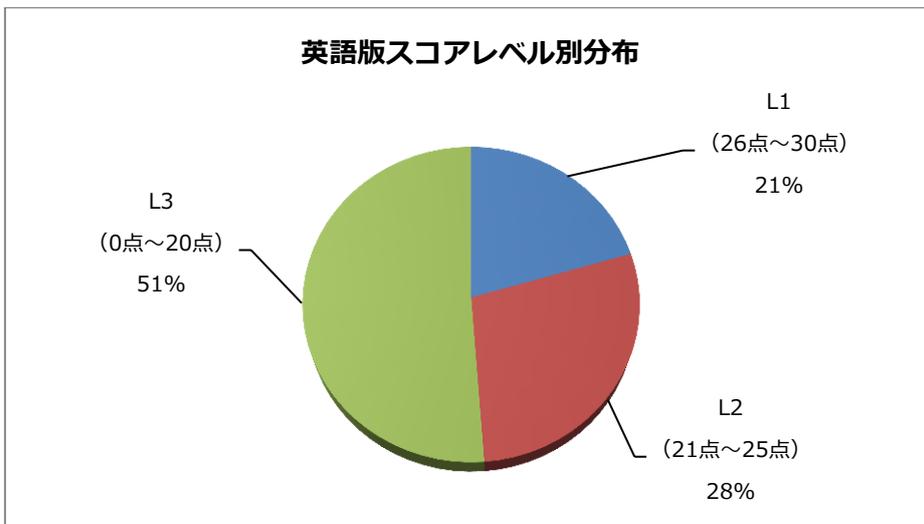
日本語版試験では「L1」レベルが 60%, 「L2」まででは全受験者の 90%を越える結果となっている。

英語版試験では「L1」「L2」を合わせても全受験者の 50%を割り、「L1」レベルでは 20%程度となっており、日本語版と比較すると大幅にスコアが落ち込んでいる。

(日本語版試験)



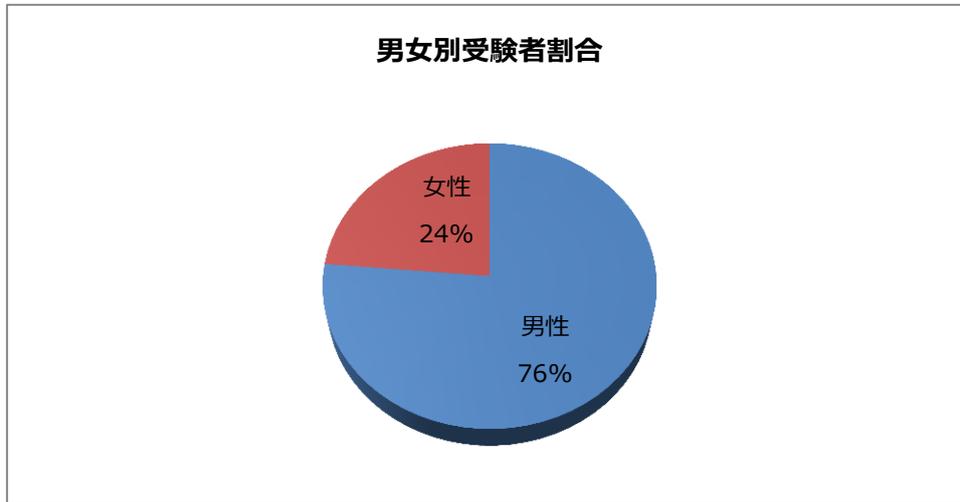
(英語版試験)



英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

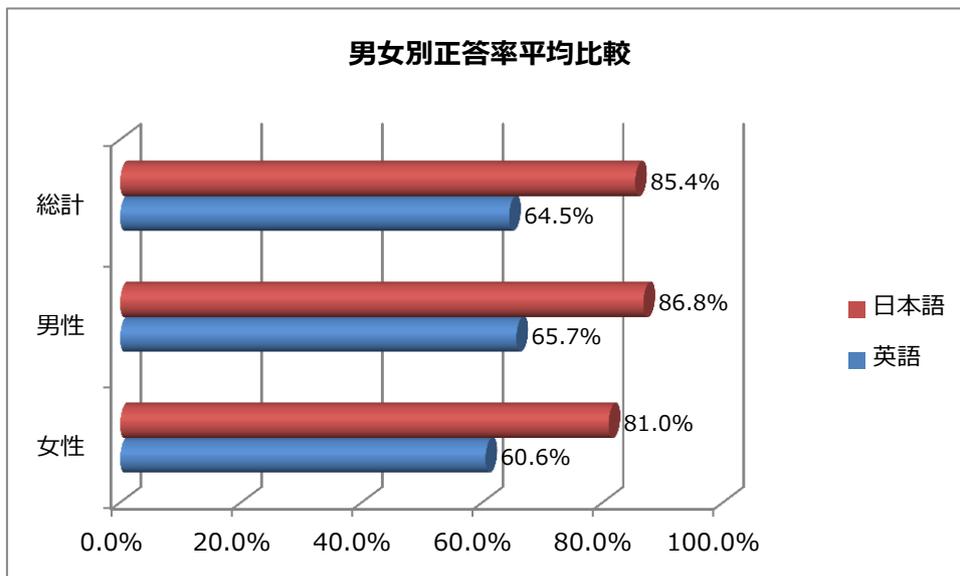
02) 受験者属性との検証

(男女別受験者の状況)



男女別平均点 (30 点満点)

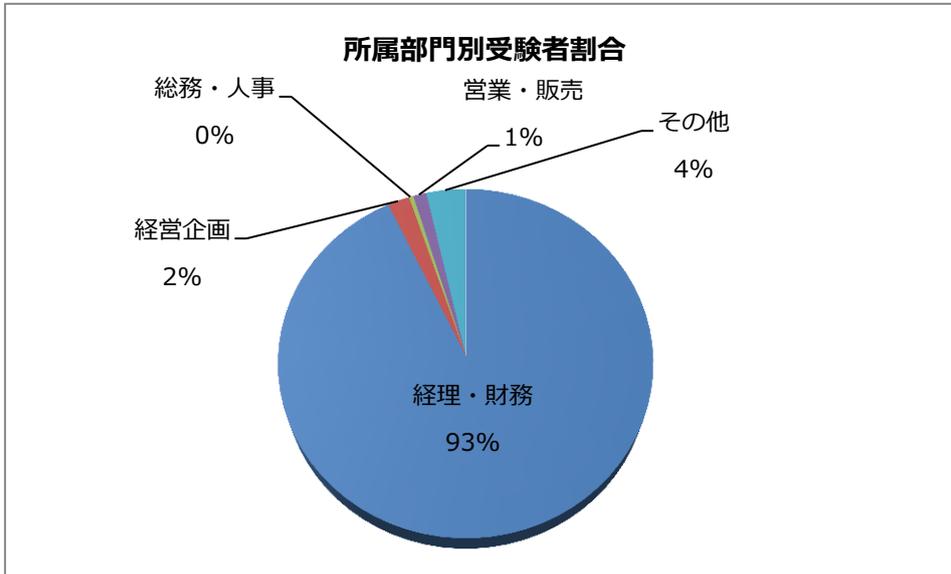
	日本語	英語
男性	26.0	19.7
女性	24.3	18.2



英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

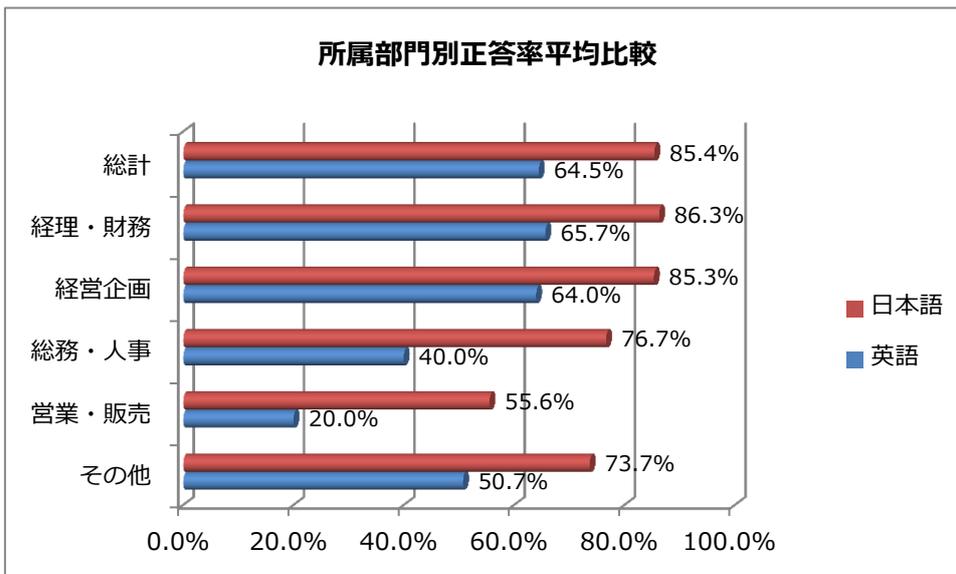
(所属部門別受験者の状況)

全体として経理・財務部門及び経営企画部門が日英とも高い成績を示している。



所属部門別平均点 (30 点満点)

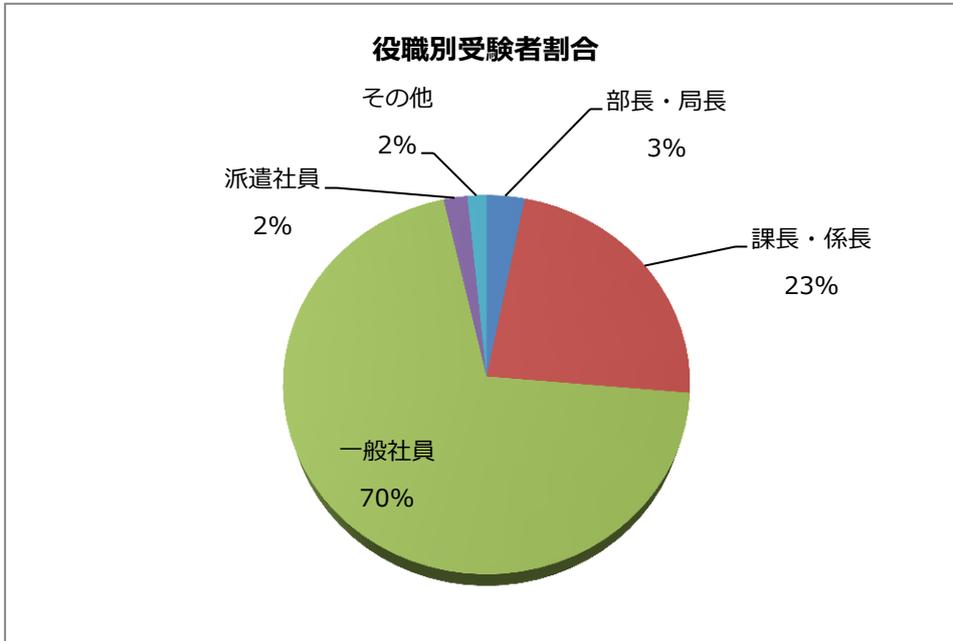
	日本語	英語
経理・財務	25.9	19.7
経営企画	25.6	19.2
総務・人事	23.0	12.0
営業・販売	16.7	6.0
その他	22.1	15.2



英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

(役職別受験者の状況)

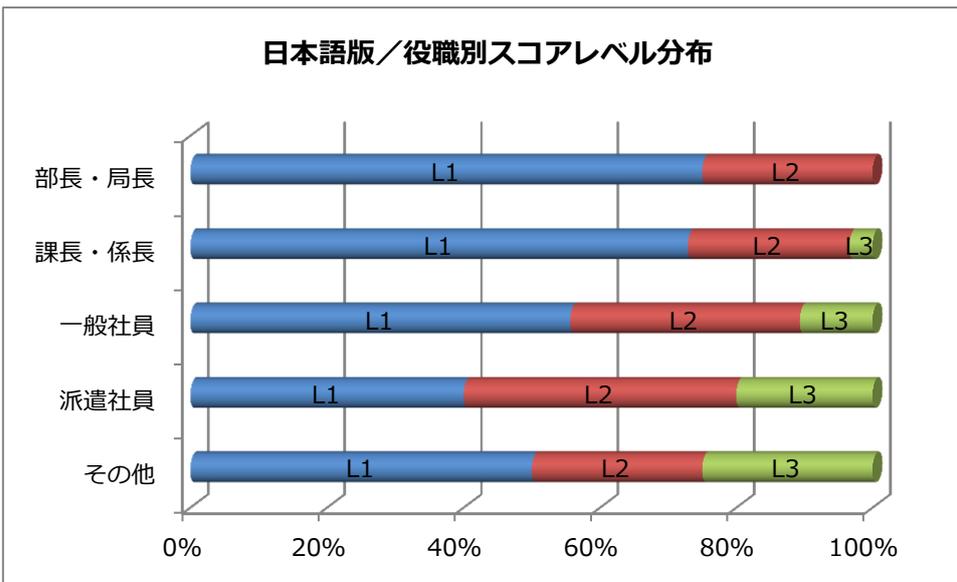
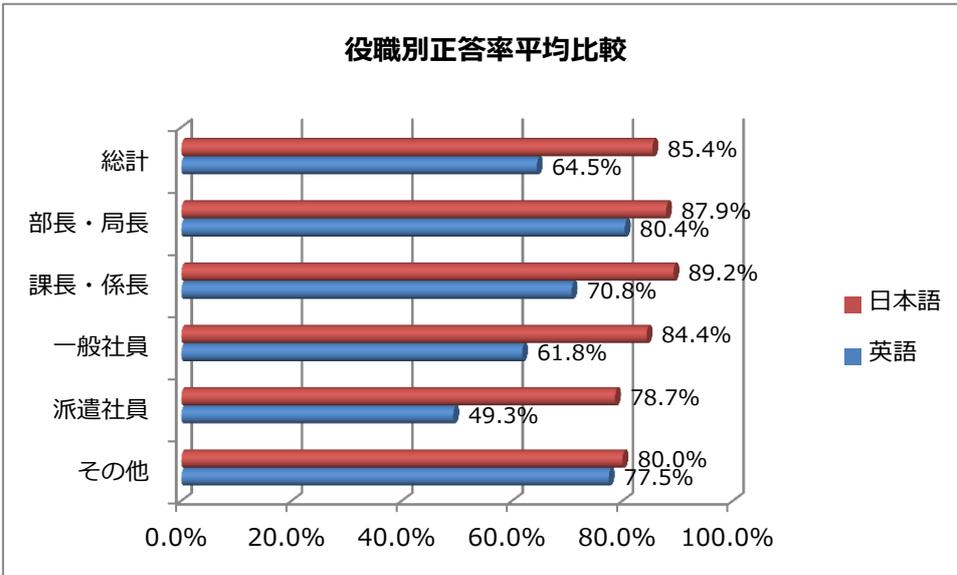
受験者の内訳としては「一般社員」が全体の約 70%を占め、管理職層は 26%程度となっている。
試験結果においては、日本語版・英語版とも職位が高い程、高い成績を示している。



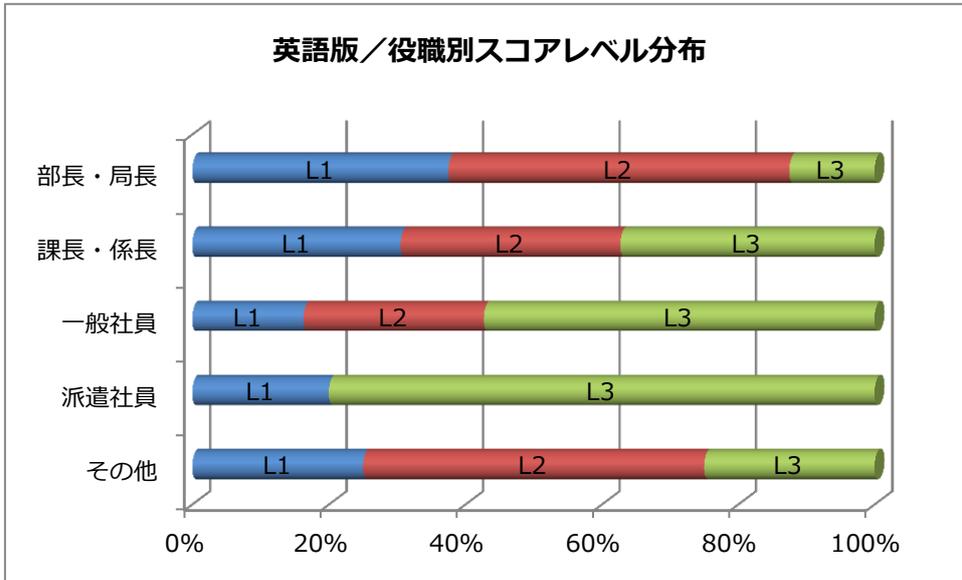
役職別平均点 (30 点満点)

	日本語	英語
部長・局長	26.4	24.1
課長・係長	26.8	21.2
一般社員	25.3	18.5
派遣社員	23.6	14.8
その他	24.0	23.3

英語版 FASS 検定
「実証テスト」検証結果報告



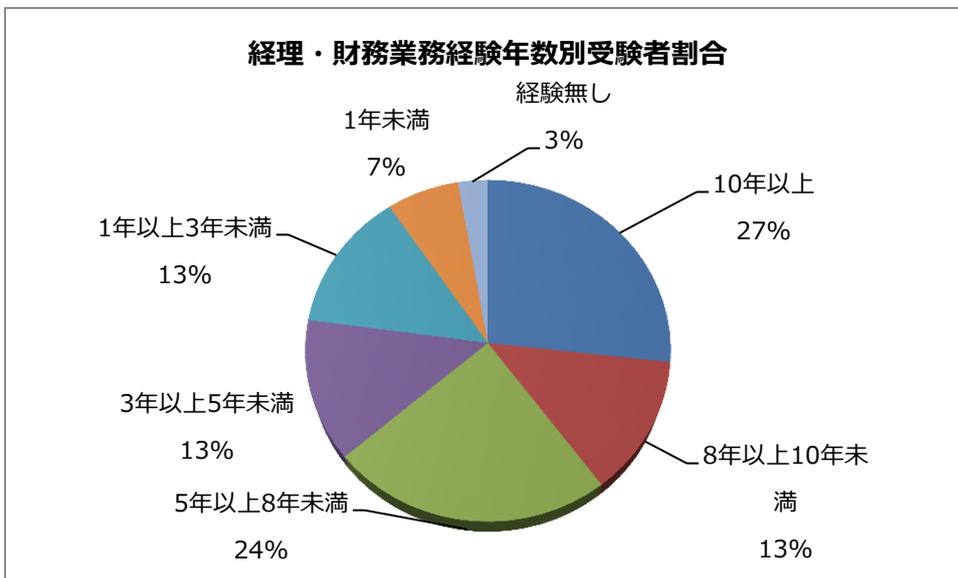
英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告



(経理・財務業務経験年数別受験者の状況)

8年以上の受験者が全体の40%近くを占め、5年以上まで含めると60%を越え、中堅クラス以上の受験者が比較的多かった。

試験結果においては、日本語版・英語版とも経験年数が高い程、高い成績を示している。

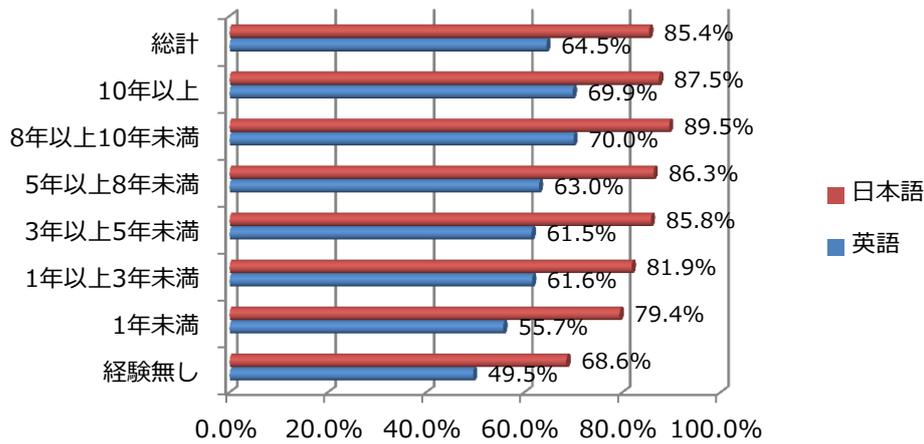


英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

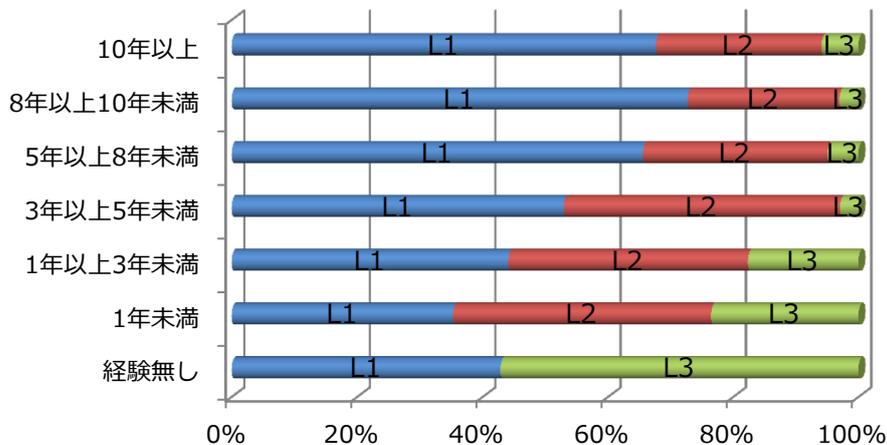
経理・財務経験年数別平均点（30 点満点）

	日本語	英語
10 年以上	26.2	21.0
8 年以上 10 年未満	26.8	21.0
5 年以上 8 年未満	25.9	18.9
3 年以上 5 年未満	25.7	18.4
1 年以上 3 年未満	24.6	18.5
1 年未満	23.8	16.7
経験無し	20.6	14.9

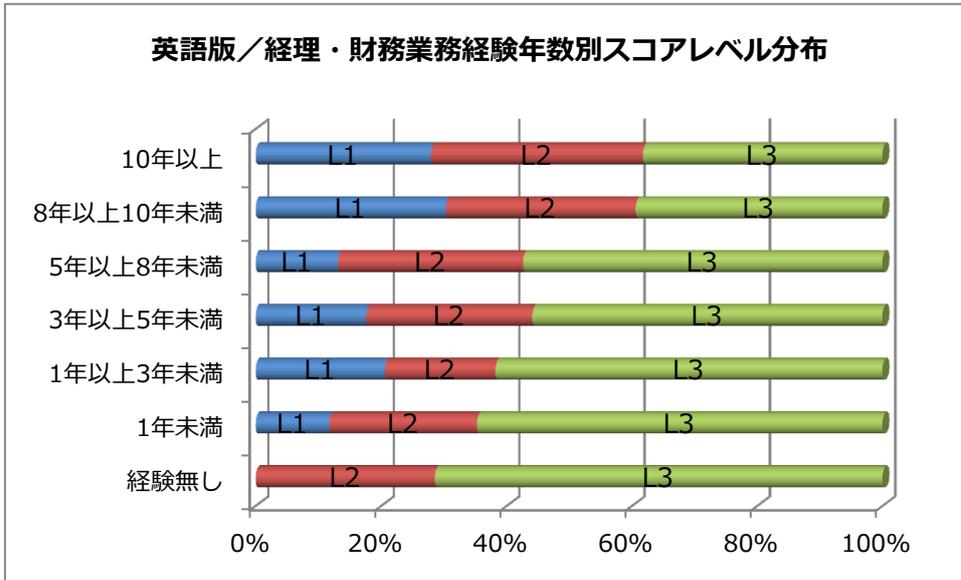
経理・財務業務経験年数別正答率平均比較



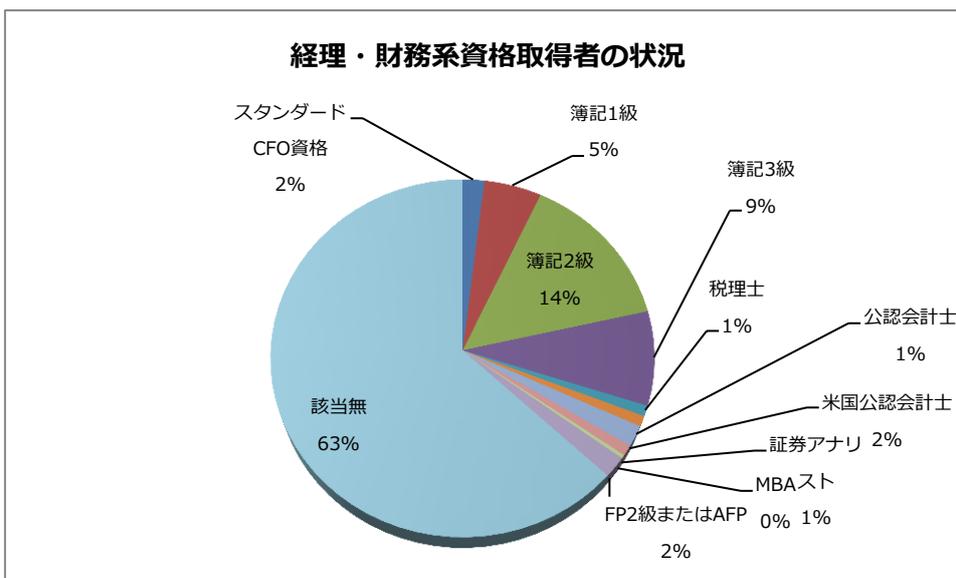
日本語版／経理・財務業務経験年数別スコアレベル分布



英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

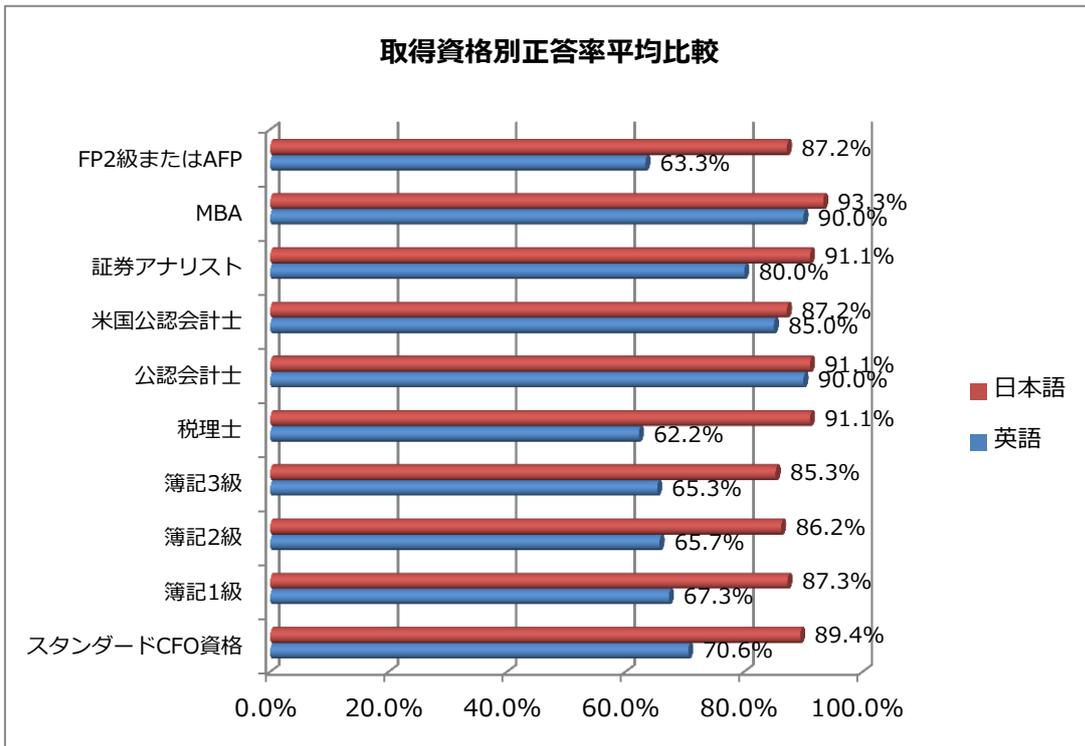


03) 経理・財務系資格との検証 ※複数回答有



「公認会計士」「米国公認会計士」「証券アナリスト」「MBA」保持者が、有さない受験者よりも平均点が高かった。一方で簿記取得者はいずれも日本語版試験は総じて高い正答率を示しているものの、英語版ではある程度の落ち込みが見受けられる。

英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

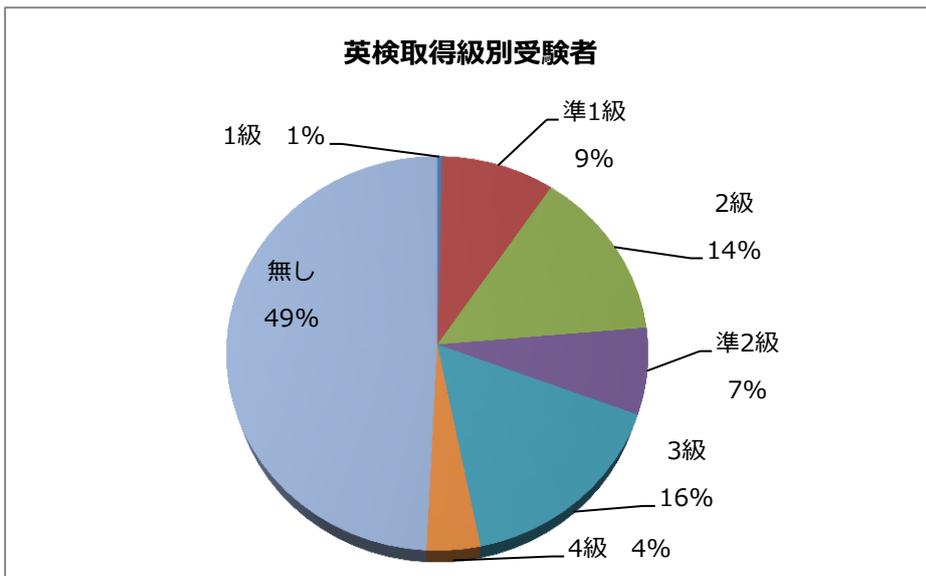


04) 英語系資格との検証

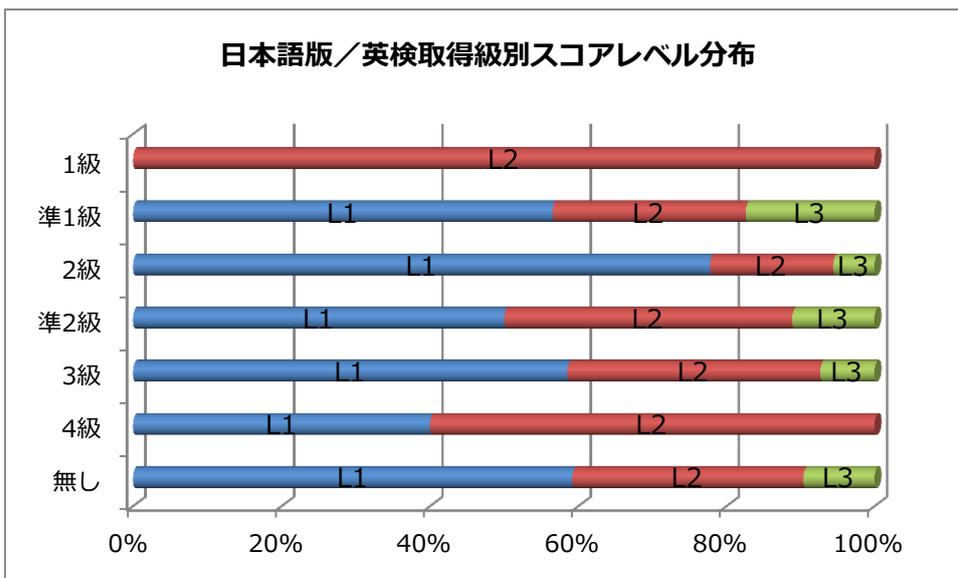
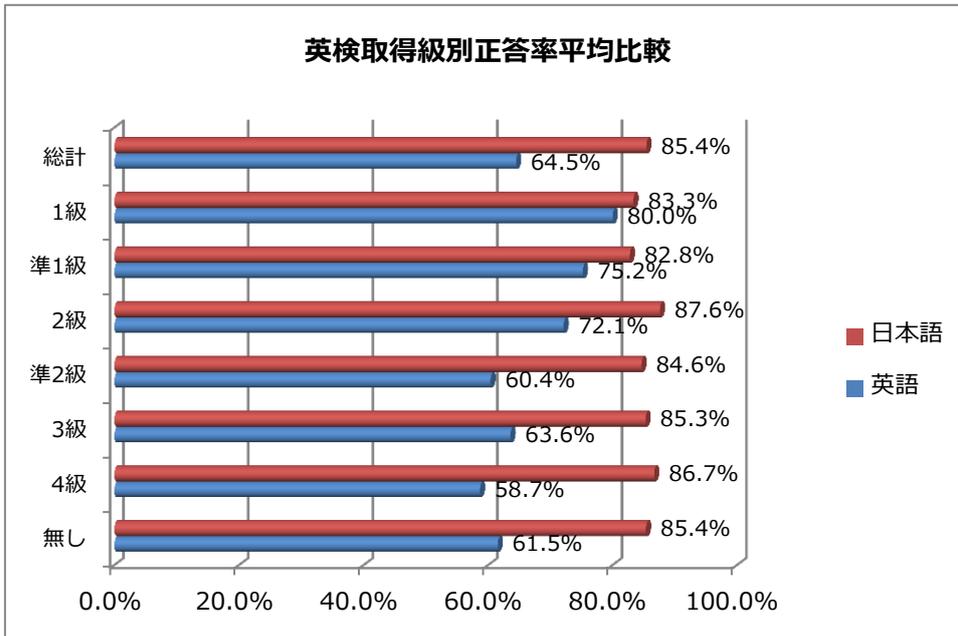
(英語検定取得者の状況)

英語検定取得者が全受験者の50%強、2級以上では24%程度となる。

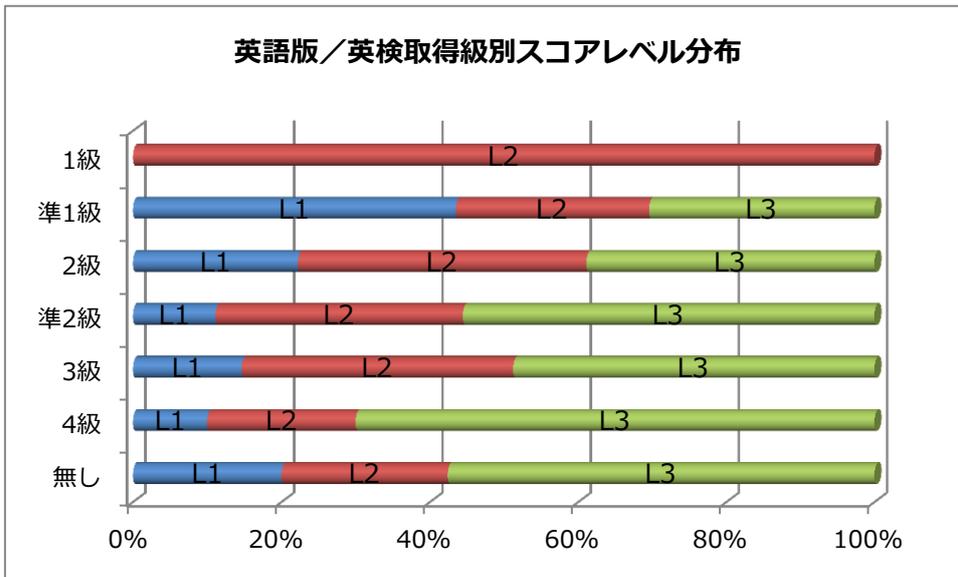
日本語版試験ではほぼ同程度の正答率平均を示しているものの、英語版試験では級が高いほど正答率が高く、2級⇔準2級間で相当程度の開きがあらわれている。



英語版 FASS 検定
「実証テスト」検証結果報告

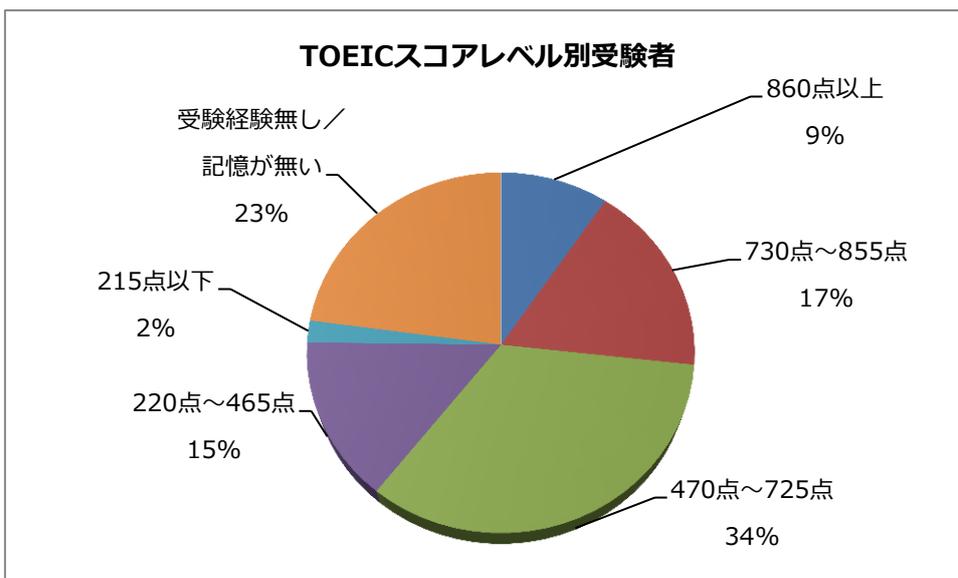


英語版 FASS 検定
「実証テスト」検証結果報告



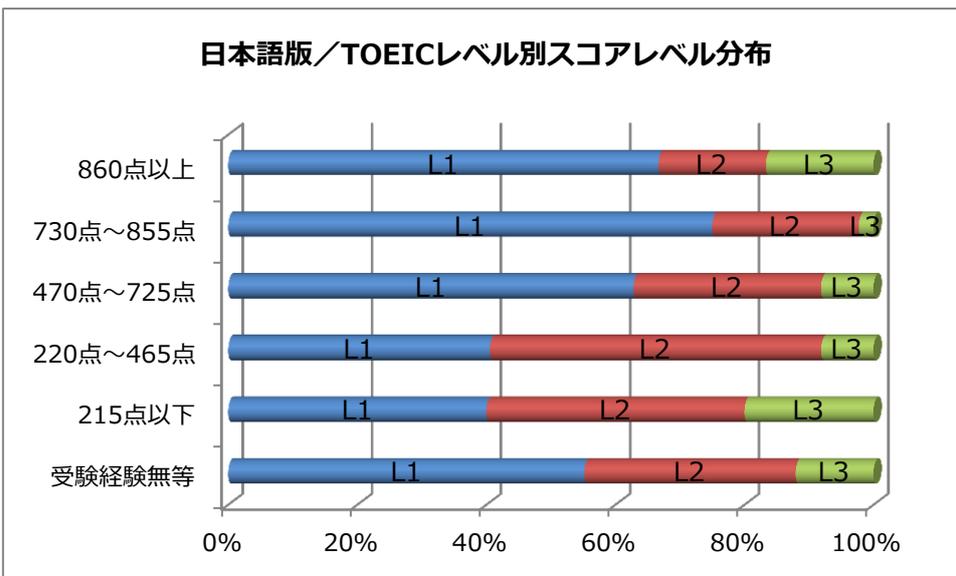
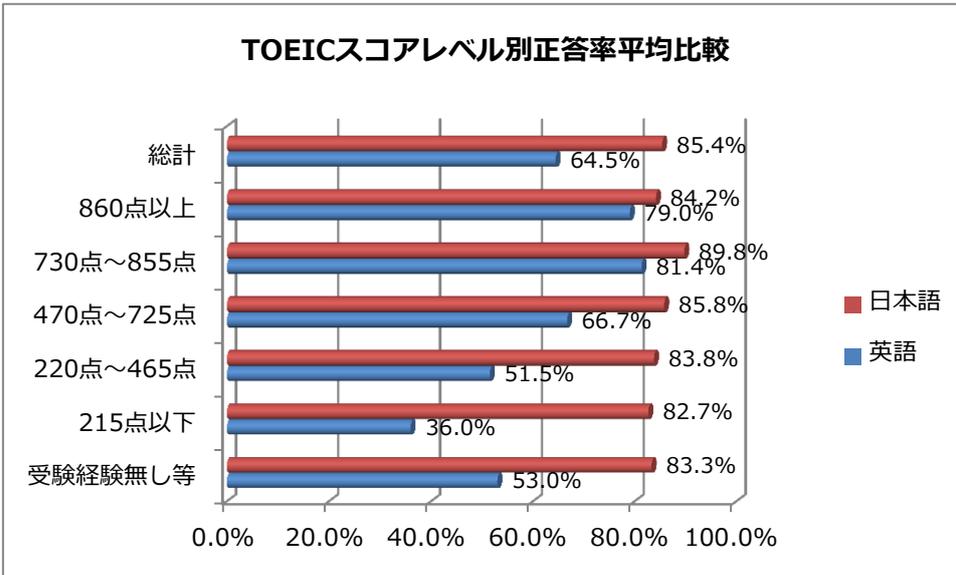
(TOEIC 受験者の状況)

英語系資格の中でもっとも受験経験者が多く、全受験者の 75%強を占めている。

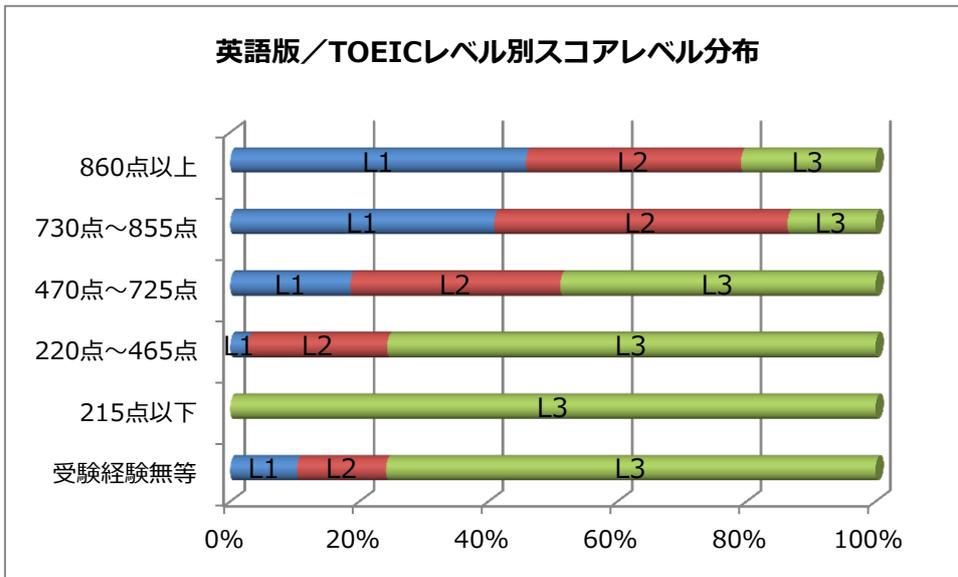


全受験者の内、75%強が TOEIC 受験経験者となっており、730 点以上が 1/4 を占めている。英語検定と同様、日本語版試験ではほぼ同程度の正答率平均となっているが、英語版試験では、スコアレベルが高い程、高い成績を示している。

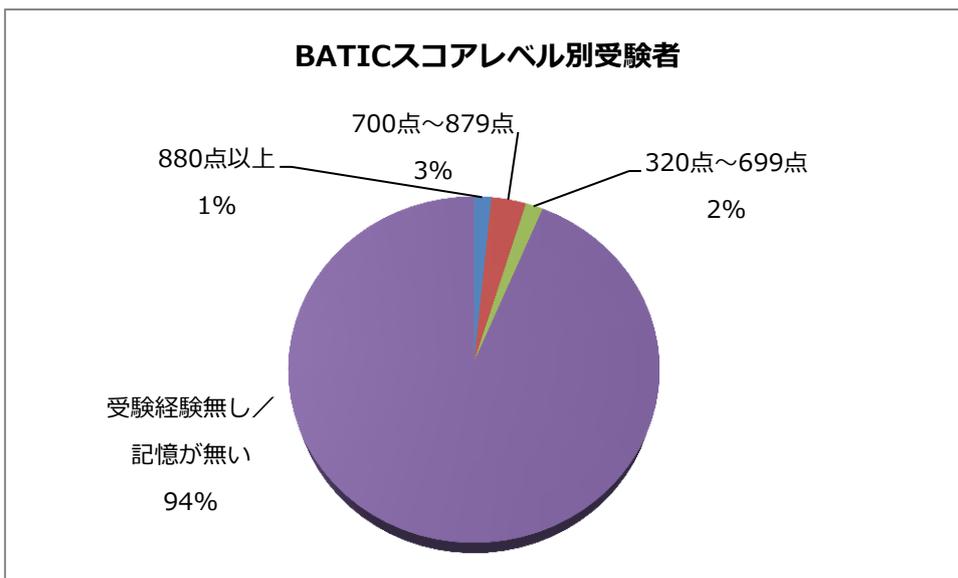
英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告



英語版 FASS 検定
「実証テスト」検証結果報告

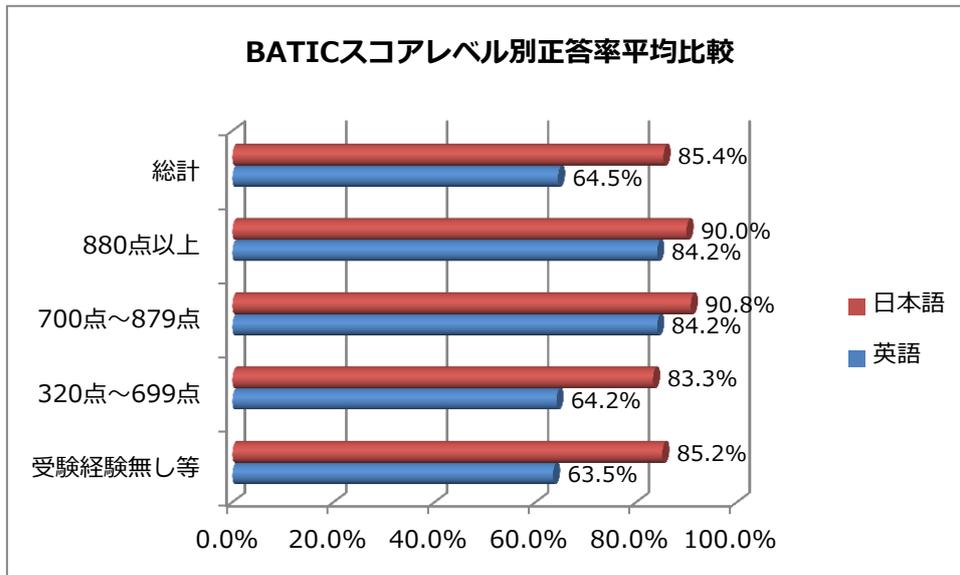


(BATIC 取得者の状況)



全受験者の内、BATIC（国際会計検定）受験者は非常に少なく、全体の 6%程となった。英語版試験において「アカウントマンネージャー」レベルと「アカウント」レベル間で相当程度開きがあらわれている。

英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告



(ご参考) BATIC スコアと称号 ※東京商工会議所／BATIC (国際会計検定) HP より

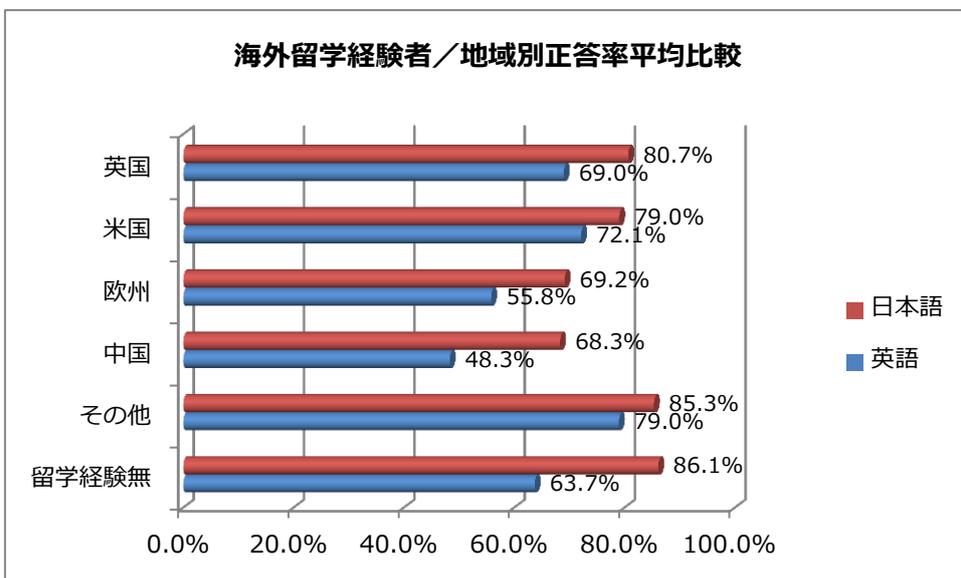
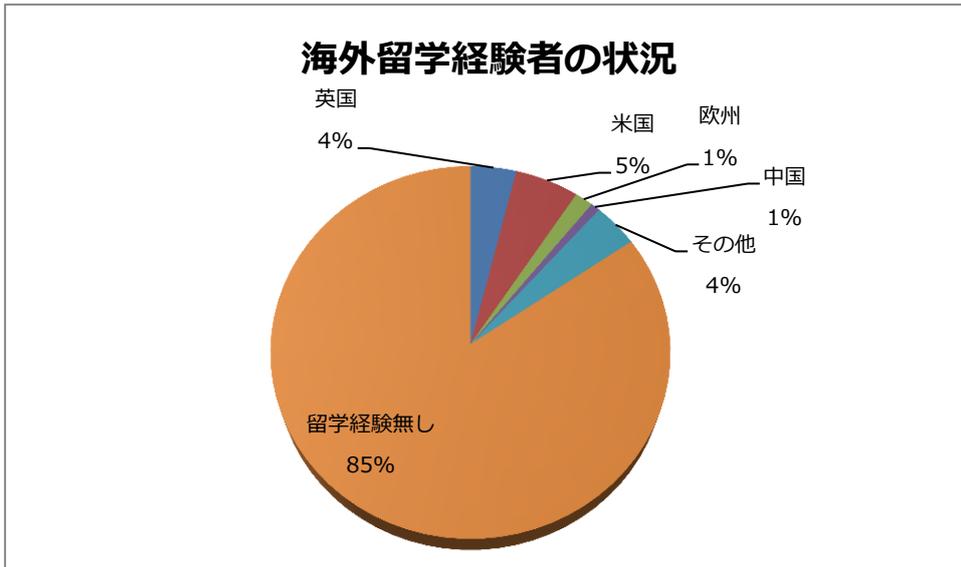
スコア	称号
880~1000	コントローラーレベル
700~879	アカウンティングマネージャーレベル
320~699	アカウンタントレベル
200~319	ブックキーパーレベル

英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

05) 海外留学・駐在経験者の検証

(海外留学経験者の状況) ※複数回答有

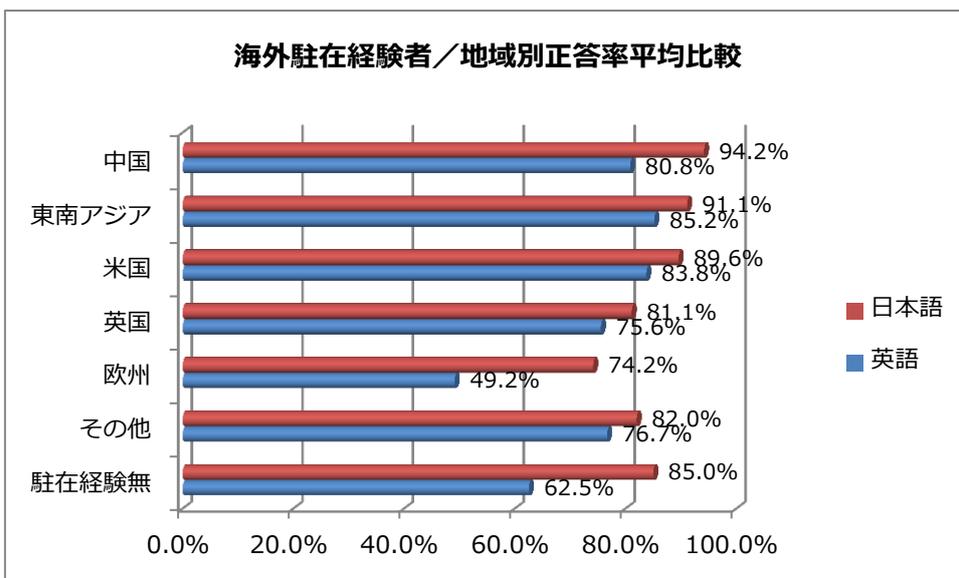
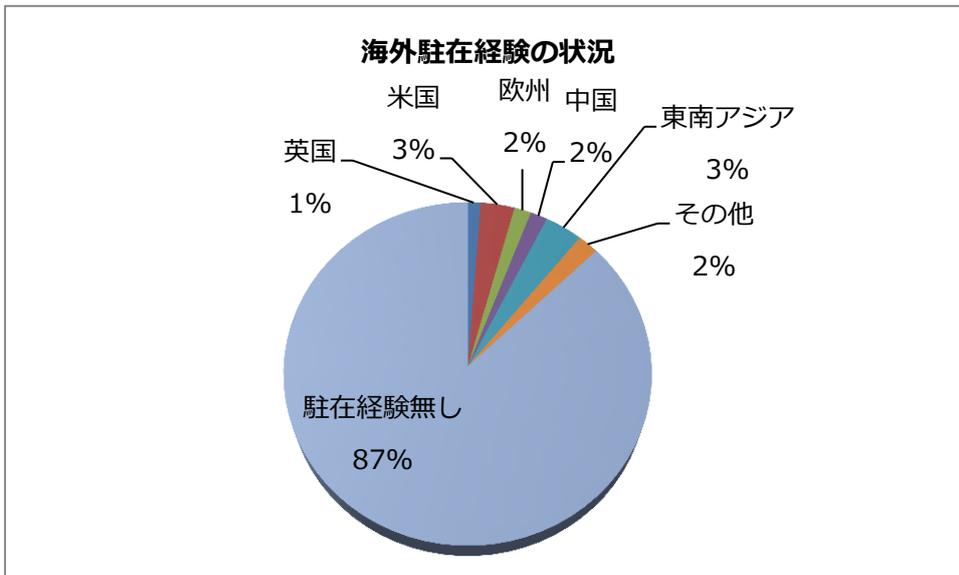
全受験者の内、留学経験者は 15%程度となり非常に少なかった。留学地域別の英語版試験の正答率は米
国・英国が高く中国と大きく差が開いている。



(海外駐在経験者の状況) ※複数回答有

全受験者の内、海外駐在経験者は 13%程度となり非常に少なかった。英語版平均点では一部地域を除き、
国・地域に関わらず大きな差を示していない。

英語版 FASS 検定
「実証テスト」検証結果報告



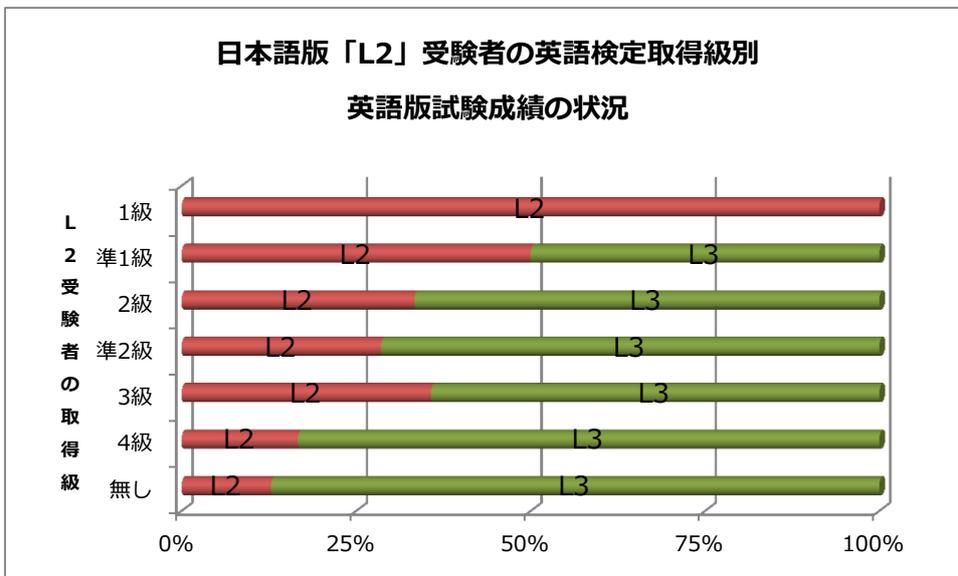
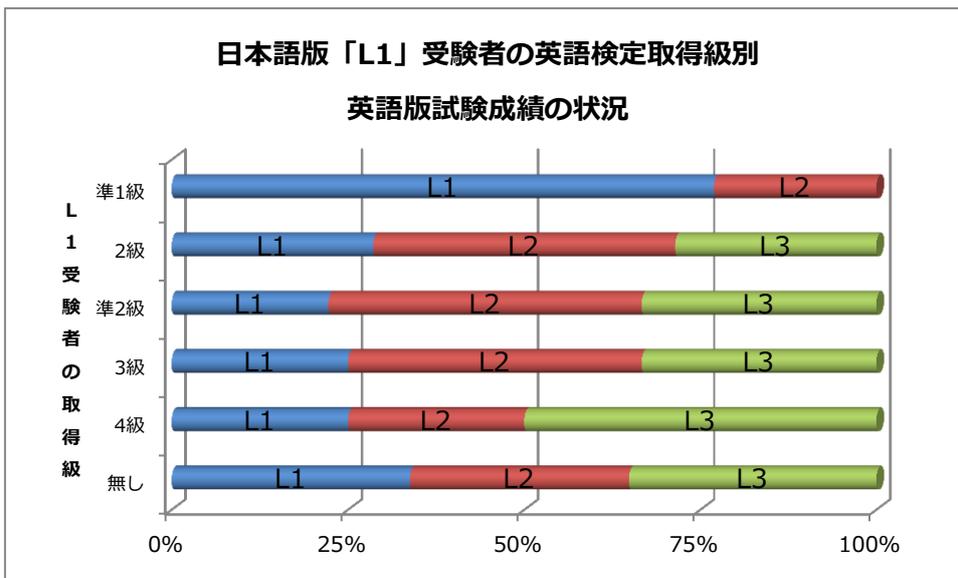
英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

【5】 日英間スコアレベル比較

日本語版試験にて「L1」「L2」の成績であった受験者を対象として保有する英語系資格別に、英語版試験の成績状況を検証する。

01) 英語検定取得級別による検証

TOEIC 受験者に比して英検取得者は少ないものの、英語検定 2 級以下の受験者で英語版試験にてスコアレベルを維持できた受験者は各級 30%程度かそれ以下となっている。

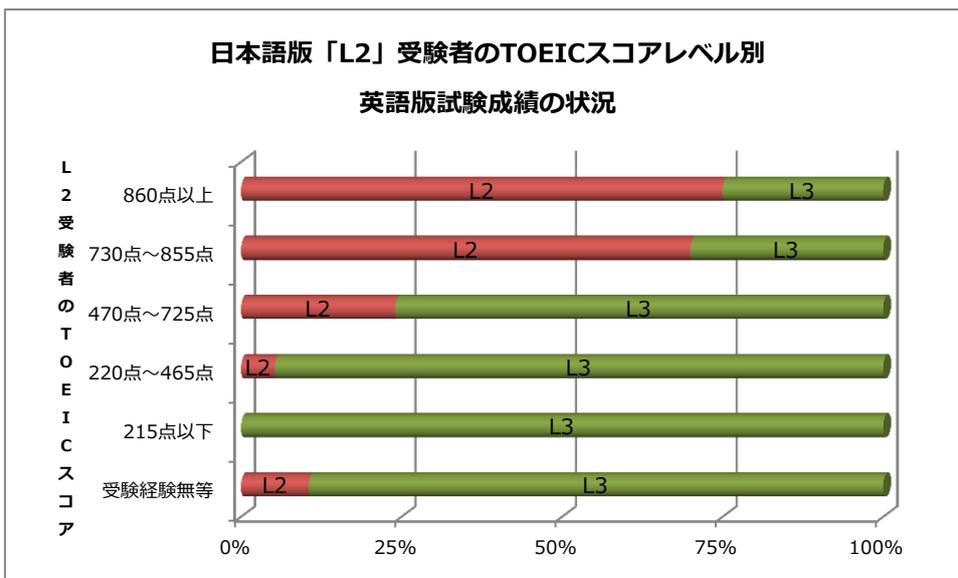
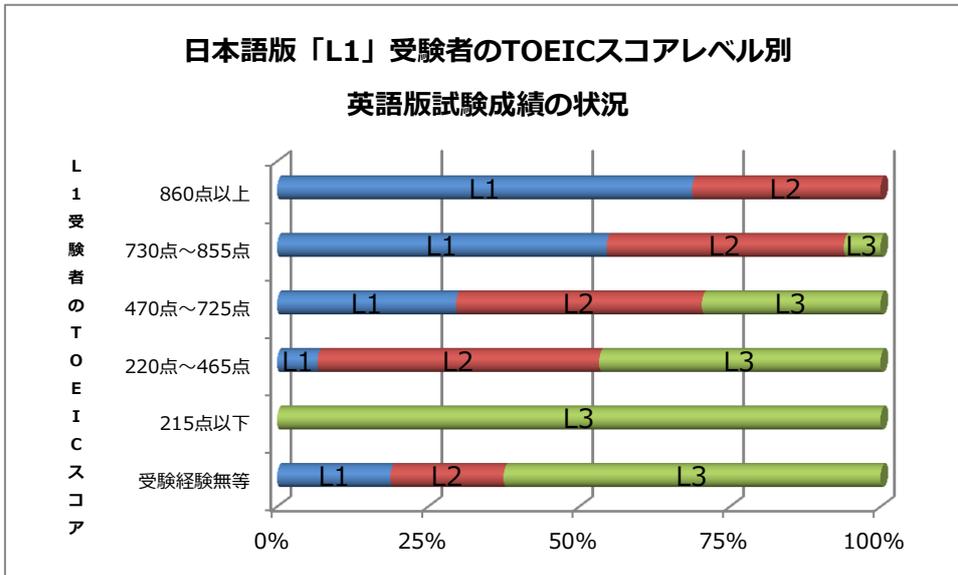


02) TOEIC のスコアの比較

860 点以上のスコア保持者でも約 30%前後の受験者が英語版試験にてスコアレベルを維持できていない。
725 点以下のスコア保持者で英語版試験にてスコアレベルを維持できた受験者は各レベル 30%程度かそ

英語版 FASS 検定
「実証テスト」検証結果報告

れ以下となっている。



03) BATIC との比較

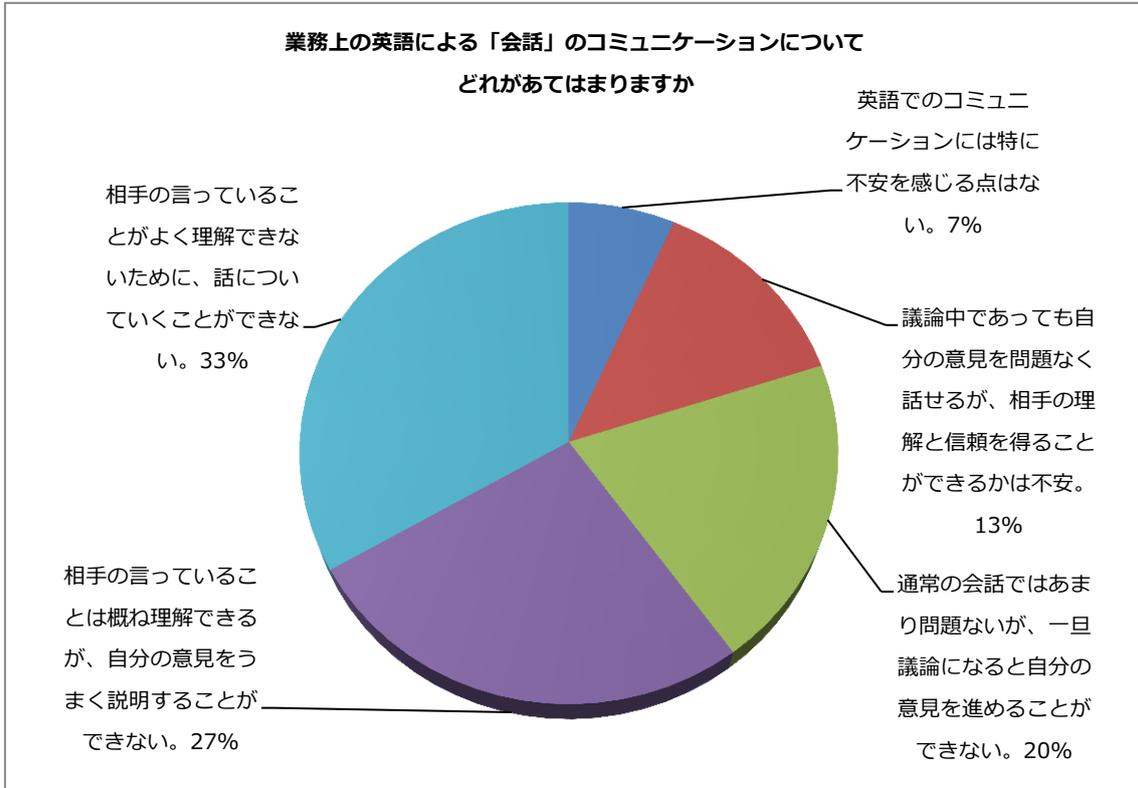
対象母数が少ないため検証せず。

【6】社内における英語によるコミュニケーションに関するアンケート状況

全受験者に対して社内における「会話」「Eメール・文書」によるコミュニケーションにおける自己認識について以下の通りアンケートを実施した。

英語版 FASS 検定
「実証テスト」 検証結果報告

01) 「会話」のコミュニケーション



02) 「Eメール」「文書」によるコミュニケーション

